

ICT による SDGs 達成への貢献と 研究開発プロセスの進化

令和2年1月21日

国立研究開発法人情報通信研究機構

オープンイノベーション推進本部ソーシャルイノベーションユニット

ユニット長 矢野 博之

1. 目指すべき社会像

我が国における2030年代の社会構造の変化・課題

- ・生産年齢人口の急減
- ・外国人労働者の増加
- ・地域の疲弊
- ・地域格差の拡大
- ・少子高齢化の進展
- ・自然災害の増加
- ・インフラ、公共施設の老朽化
- ・社会参画の不平等 等
- ・GDPが低調
- ・内需縮小

世界の課題

- ・人口の増大
- ・医師の不足
- ・地球温暖化
- ・エネルギー需要の増加
- ・高齢化の進展
- ・教育の不足
- ・自然災害の増加
- ・貧困
- ・水、食糧の需要の増加
- ・インフラ、公共施設の未発達
- ・社会参画の不平等 等

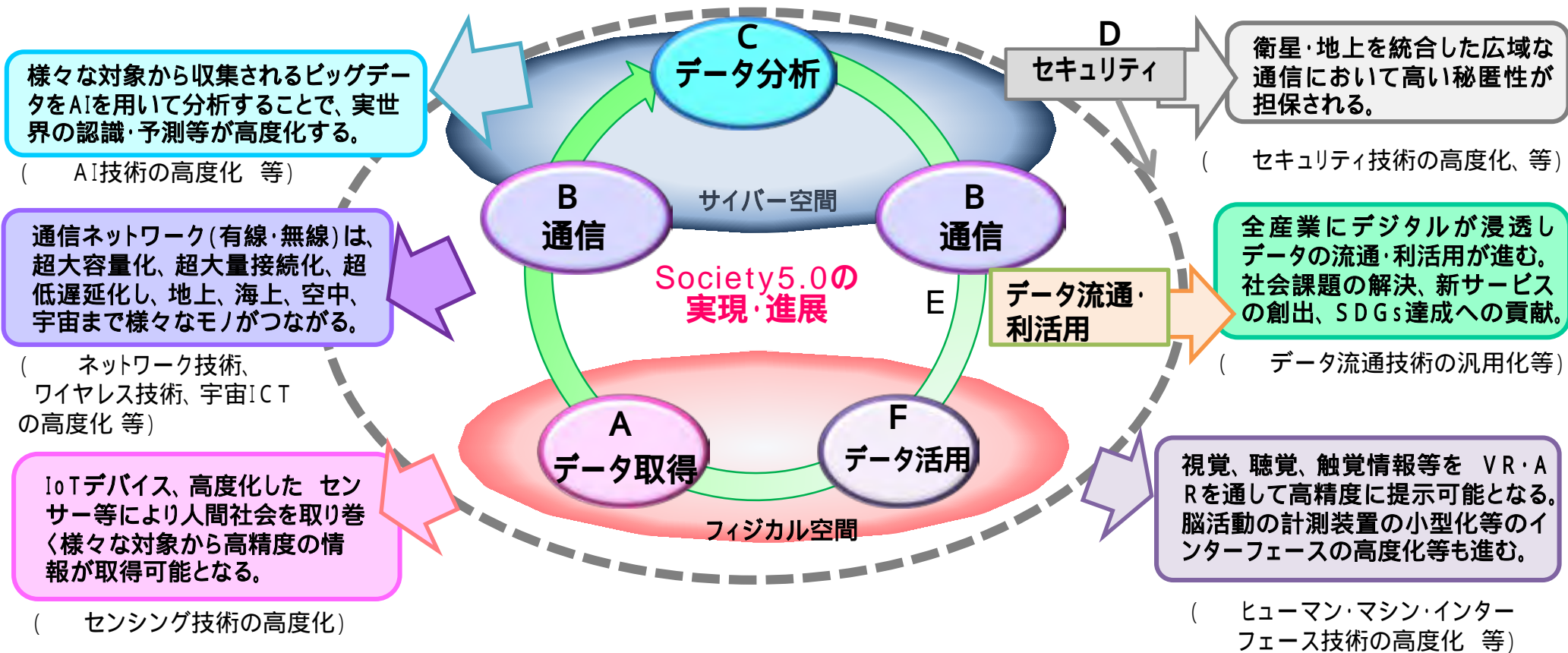


デジタル化によってSDGsが達成された社会とは、Society 5.0がグローバルに実現した社会をいう。

2 . ICT による SDGs 達成への貢献

Society5.0の実現・進展を支える技術分野とキーテクノロジー

サイバー空間とフィジカル空間が融合するSociety 5.0においては、実世界での様々なデータをセンシング技術により取得し、通信を介してデータを収集・蓄積（ビックデータ化）して、AI等により処理・解析することで、新たに生まれるデータや価値を実世界で活用するデータのサイクルを実現することが必要。



3 . イノベーションのための研究開発プロセスの進化 ～ リニア型モデルと非リニア型モデル ～

